

資料1-1

# 報告事項1

## 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更について



## 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 (都市計画区域マスタープラン)

「千葉県策定」 (R7年9月～手続き開始)

習志野市長期計画  
基本構想・基本計画

(R7年度末 次期計画策定)



習志野市都市マスタープラン (R8年度末 改訂予定)



### 個別の都市計画

地域地区に関する計画

都市施設に関する計画

市街地開発事業に関する計画

地区計画等の計画

### 関連計画

住生活基本計画

下水道基本計画

立地適正化計画

など

# 今回の見直しの方向性

## (1)広域的な視点に立ったマスタープランの策定

生活圏、経済活動の拡大への対応や、広域幹線道路、公共交通などの社会インフラの効果的な活用を目指し、市町村の枠を超えた広域的なマスタープランにより拠点やネットワークを配置し、合理的な土地利用の規制・誘導を図ります。

## (2)人口減少に対応したコンパクトで効率的な都市構造への転換

人口減少にも対応できる持続可能な都市経営・環境負荷の低減を目指し、公共交通等と連携したコンパクトな都市構造を構築します。

## (3)社会インフラ等を活用した多様な産業の受け皿の創出による地域振興

成田空港の更なる機能強化や広域幹線道路の整備進展等による社会インフラの整備効果の最大化を目指した産業の受け皿づくりや、鉄道駅周辺などの中心市街地等への新たな業務・研究機能の誘導により、地域の振興を図ります。

## (4)激甚化・頻発化する自然災害への対応

激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、災害に強い安全な都市づくりに向けた土地利用の規制・誘導や市街地整備を図ります。

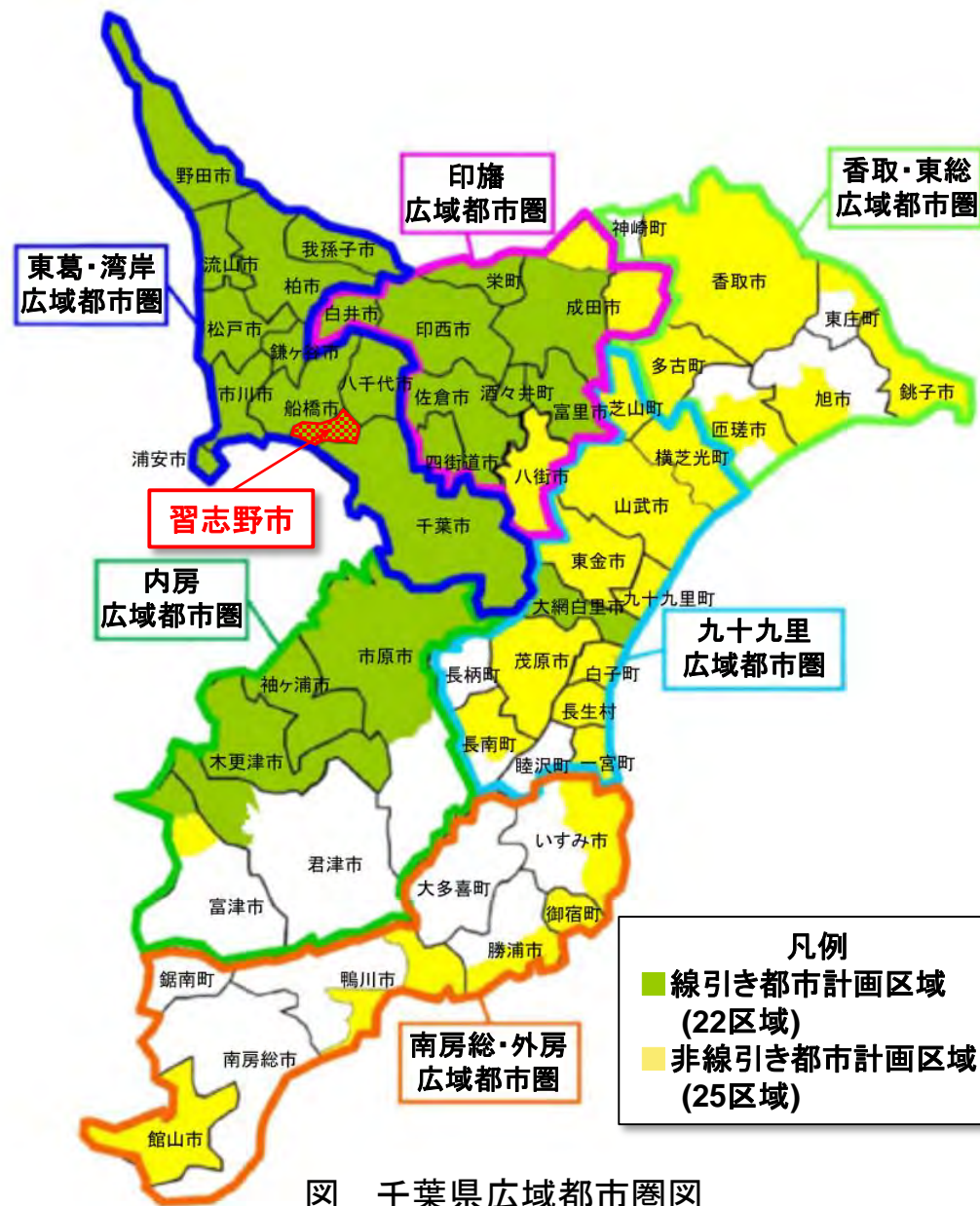
## (5)自然環境の保全と質の高い生活環境の整備

森林・農地・公園等は、良好な自然環境や景観の形成のみならず、防災・減災、カーボンニュートラルの実現、ウォーカブルな生活環境の形成など多面的な機能を有することから、その整備・保全と活用を図ります。

県全域を対象に設定した6つの圏域毎に、広域的な観点から都市づくりの方向性や方針を示すとともに、道路ネットワークや都市機能の集積を図る拠点等を明らかにした広域都市圏を設定します。

表 広域都市圏に含まれる市町村

広域都市圏	広域都市圏に含まれる市町村
東葛・湾岸 広域都市圏	千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市
印旛 広域都市圏	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
香取・東総 広域都市圏	銚子市、旭市、匝瑳市、香取市、神埼町、多古町、東庄町
九十九里 広域都市圏	茂原市、東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
南房総・外房 広域都市圏	館山市、勝浦市、鴨川市、南房総市、いすみ市、大多喜町、御宿町、鋸南町
内房 広域都市圏	木更津市、市原市、君津市、富津市、袖ヶ浦市



都市計画区域マスタープランは、6つの広域都市圏ごとに、都市計画区域外を含む県全域について定めるものです。

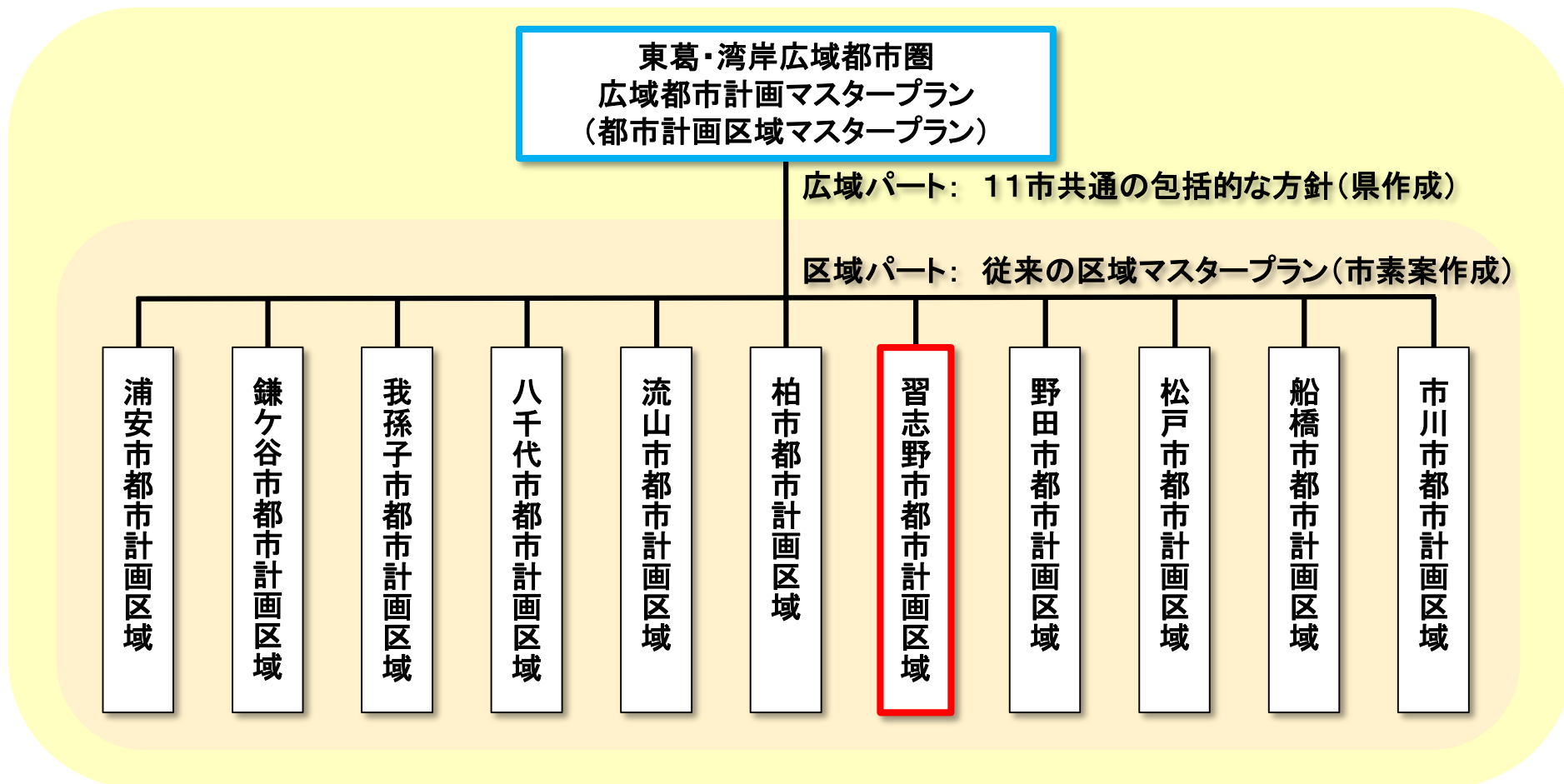


図 広域都市計画マスタープラン体系図

## 【広域都市圏で共通して定める事項】

1. 都市づくりの基本理念
  - 1) 基本理念
  - 2) 目標年次
  - 3) 広域都市圏
2. 東葛・湾岸広域都市圏の都市計画の目標
  - 1) 本マスタープランの対象範囲
  - 2) 現状と課題
  - 3) 目指すべき将来像
  - 4) 広域都市圏の都市づくりの目標と方向性
3. 広域都市圏構造図

県内共通

圏域共通

## 【都市計画区域毎に定める事項】

1. 都市計画の目標
  - 1) 本区域の基本理念
  - 2) 地域毎の市街地像
2. 区域区分の決定の有無及び区域区分を定める際の方針
  - 1) 区域区分の決定の有無
  - 2) 区域区分の方針
3. 主要な都市計画の決定の方針
  - 1) 土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針
  - 2) 都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針
  - 3) 市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針
  - 4) 自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針

# 今後の流れについて

《令和6年度》

都市計画区域マスタープラン素案作成

《令和7年度予定》

素案の公表（窓口縦覧等）（9月～）

都市計画案の申出

案の概要の縦覧

公聴会

案の縦覧

市・県都市計画審議会

決定・告示